

十二経絡の病証 [東概]

作成：りんご鍼灸院

行	木	君火	相火	土	金	水
十二経絡の病証	足少陽胆経 目尻、側頭部、顎関節、鎖骨上窩、体幹外側、下肢外側の痛み、足第4指の麻痺、寝返りが打てない、足外反しほてる	手少陰心経 心臓部痛、上肢前面内側の痛み、手掌のほてりと痛み	手厥陰心包経 心臓部痛、腋の腫れ、上肢のひきつり、手掌のほてり、季肋部のつかえ	足陽明胃経 顔面の麻痺、前頸部の腫れ、前胸部・腹部・背下部・下肢前面・足背の痛み	手太陰肺経 上肢前面外側の痛み、手のほてり	足太陽膀胱経 頭頂部・後頭部痛、体幹後面、下肢後面の痛み、足の小指の麻痺
	口苦、太息、顔色がくすむ、か加艶ない	のどの渴き、脇の痛み	胸苦しさ、顔色が赤い、精神不安定	躁・鬱状態、鼻出血、消化吸収の異常	喘咳、息切れ、胸苦しさ、胸の熱感	脊柱の痛み、目の痛み、鼻出血、痔、おこり、精神異常
	足厥陰肝経 疝気、下腹部膨満感、遺尿、尿閉、腰痛み、うつむいたり仰向いたりできない、季肋部腫	手太陽小腸経 頰が腫れ、後ろを振り返ることができない、肩、上腕の激しい痛み。頸肩、上肢後面内側	手少陽三焦経 耳後～肩上部～上肢後面の痛み、第4指の麻痺、目尻から頬の痛み、難聴	足太陰脾経 前胸部、心下部、腋窩の圧迫感、下肢内側の腫れ痛み、母趾の麻痺	手陽明大腸経 喉の張れ痛み、上肢外側の痛み、示指の痛み	足少陰腎経 腰部・大腿内側の痛み、冷え、しびれ、足底のほてり。口腔内、咽頭部の炎症
	嘔吐、ひどい下痢、のどの渴き、顔色がすすけて青黒くなる	のど、あごの腫れ痛み、難聴	咽頭・口頭の炎症、汗	腹部膨満感、嘔吐、軟便・下痢、全身の倦怠感	歯の痛み、鼻出血	空腹感が有&食欲がない、顔色が黒ずむ、呼吸が苦しく咳きこむ
気液	風 涙	暑(熱) 汗	火 ***	湿 涎(唾液)	燥 涕(鼻水)	寒 唾(よだれ)
六経病	太陽経病	足太陽膀胱経	手太陽小腸経	陽の強い太陽経に外邪 頭頂痛、腰脊強ばる		
	陽明経病	足陽明胃経	手陽明大腸経	皮肉、経絡は目を挟み鼻 目が痛み、鼻濁く		
	少陽経病	足少陽胆経	手少陽三焦経	経絡は胸脇を巡り耳 胸脇痛、耳聾		
	太陰経病	手太陰肺経	足太陰脾経	病気進行 経絡胃中 腹中張満 喉濁く		
	少陰経病	手少陰心経	足少陰腎経	腎を貫き肺を絡い舌根 口乾き、舌乾 渴き		
	厥陰経病	手厥陰心包経	足厥陰肝経	陰器を巡り肝を絡う 煩悶、陰囊収縮		
三陰三陽病	太陽病	足太陽膀胱経	手太陽小腸経	発病初期: 悪寒、発熱、頭痛、項強、脈浮		
	陽明病	足陽明胃経	手陽明大腸経	発病後4-7日: 口苦、咽乾、舌苔白、食欲不振、悪心、咳深く、胸脇苦満。悪寒と熱感交互に		
	少陽病	足少陽胆経	手少陽三焦経	発病後8-9日: 体温高く、全身に熱感、腹実満、便秘、舌苔黄		
	太陰病	手太陰肺経	足太陰脾経	体力衰、身体冷え、腹虚満、腹痛、下痢、嘔吐		
	少陰病	手少陰心経	足少陰腎経	臥床でうつらうつら。脈微細		
	厥陰病	手厥陰心包経	足厥陰肝経	顔色一見赤い、下半身冷え、咽が渴き、胸熱く、疼み、空腹だが飲食できない。やがて死に至る。		

* 合病...同時に二病、三病起こる
 併病...病気の移行中に次の症状が加わる
 直中...体力のない者が陽を経ず陰の病状を呈す
 両感...陰陽の病が同時に起こる
 壞病...不養生や医師の誤治により症状崩れる